

COVID-19 killer3

発熱外来用UV付き簡易診察室



詳細はこちら!

南毛利内科

検索

(税別)
114万円
組立て
設置込み

税込125.4万円(送料別着払い)

ダイヤモンドプリンセスに乗った医師が開発。

コロナ禍の医療現場の安全のために診療所、病院、福祉施設での採用を。

COVID-19 Killer3 が 選ばれる理由

特徴1 P3レベル安全実験室を再現

医師側ブースと患者側ブースは完全に密閉され、医師側は持続陽圧、患者側は持続陰圧であるため、両者間に隙間（医者の手袋の素手部分のみ）ができた場合にのみ、医師側から患者側に風が流れ、100%患者側の空気が医師側に入ることが無い。

※他社製では密閉されていないため、常に医師側から患者側に風が起り、乱流、反射風が起り危険である。



特徴2 エボラ出血熱の論文から考案

医師側ブースのスイッチで患者側ブースに万遍に紫外線Cを照射、3分間で自動的に照射を終了し、消毒せずに患者ブースをウイルスフリー化し次の患者を入れることが可能。紫外線照射中はランプがついて安全性を確保。



特徴4 堅牢で軽量、室内でも利用可能な動く安全検査室

診察室重量はアルミ枠を重ねることで堅牢かつ軽量、ストッパー付き車輪で片手で移動可能。患者側換気扇にはウイルス完全ブロックのHEPAフィルターが付いていて診察室外への汚染ゼロ。



特徴6

医師側ブースのPCをWiFiで繋げば、電子聴診器で安全に聴診。



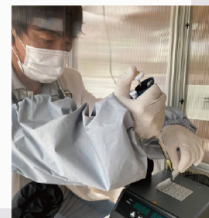
特徴7 データに裏付けされた高性能と低価格

国産UVランプ（スタンレー製）を使用し、研究所における照射実験で安全性と耐久性を確保。中間マージンを省いて低価格を実現。

PCR検体も処理できるクリーンベンチ

患者側ブースには十分な大きさのテーブルがありコンセントにヒートブロックを接続すれば、患者ブース内でPCR検体を96℃処理できる。

※96℃3分処理後はブースから出しても感染性はなくPCR検査機器を購入すれば、安全に30分で1検体1000円以下で結果を出せる。約150検査でPCR検査機器の減価償却が可能。



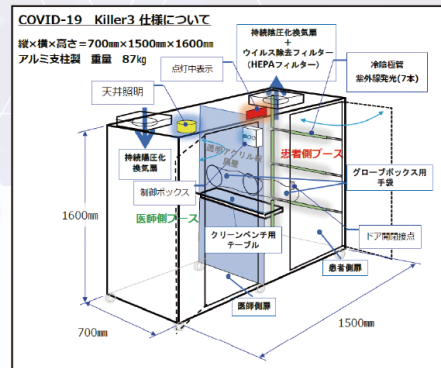
スピーディーで安全なワクチン接種が可能

患者側の消毒が不要、医師も防護服を着用せずに接種できるので紫外線照射の3分間だけの間隔で連続接種が安全にできる。



特徴3

特徴5



喜びの声が続々…!



とよきクリニック (青森)
佐々木 豊明先生

私は、感染収束の為にワクチン接種と早期発見が最重要と考えており、そのためには迅速抗原検査では不十分と考え、自院でのPCR検査を始めました。

ここで大活躍しているのがバイオセーフティーレベル3相当のCOVID19 Killer3です。

何と、検体処理時のクリーンベンチとしても利用できるのです。ドライブスルー検査の際はガウン等で武装しますが、COVID19 Killer3使用の際はマスク、フェイスガード、グローブのみで対応しております。本場に助かっております。



門山医院 (神奈川)
門山 浩先生

最強の相棒を得た気分です。「COVID19 Killer3」は被験者ブースと験者のコックピットが独立しており、殺菌や換気の設備が万全です。これなら、安全かつスピーディーに検査が可能になると、購入を決めました。

しかも他の検査ブースよりも安価なのも魅力的でした。今年度も当院は県の発熱診療等医療機関に手上げ致しました。引き続き発熱やコロナ類似症状、濃厚接触の疑いのある方。全部まとめて診察するつもりです。

最強の相棒、「COVID19 Killer3」と共に。



みすおかクリニック (愛知)
翠健一郎先生

当クリニックはみよし市役所前の医療モールにあり共同駐車場のためPCR、抗原検査の検体採取は風評被害などのためできない状況でした。

そのため外階段の廊下でひっそりと感染リスクを感じながら検査行っておりました。

このブースの様々な工夫により防護服を着る必要がなく、発熱外来診察、検査が早く、安全にできるようになりました。看護師のアルコール消毒の負担も軽減でき、ストレスフリーで大活躍です！

検証動画HPで公開中!

南毛利内科

検索



①患者ブース (右側) に
実験用の煙を充満させます。



②医師ブース (左側) には
煙が漏れていません。



③約4分後、患者ブースの
煙もなくなりました!



④HEPAフィルターで濾過
されるため患者側排気口から
も煙は出ません

開発者紹介

南毛利内科 内山順造



国内最初のCOVID-19患者が発生した地域の診療所院長でJMAT隊員としてダイヤモンドプリンセスにも乗船、神奈川県医師会公衆衛生委員会副委員長としてクラスター予防対策に奔走した。

神奈川の地域PCR検査センターの立ち上げ責任者として、医師、患者にとって安全なセンター確立のため、ハーバード大学での遺伝子研究の経験を生かし紫外線照射装置を開発 (COVID-19Killer1,2)。

その後、各地のPCR検査センターが閉鎖する中、各医療機関でPCR検査センターと同等以上の安全性を防具なしで確保できる発熱外来用UV付き簡易診察室が必要と考え、特許も取得したCOVID-19Killer3を国内UVランプメーカーの協力を得て専門工務店と量産を開始する。

新聞、雑誌でもクラスター予防、発熱外来の現状について発信を続けている。(Wikipedia内山順造 参照)

詳細はこちら!



南毛利内科

抗加齢/人間ドックセンター

内科、胃内視鏡、大腸内視鏡、カプセル内視鏡、癌検診、生活習慣病、人間ドック、各種予防接種、渡航外来
住所:〒243-0035 神奈川県厚木市愛甲2丁目11-9



お問い合わせはメールで
junzo@nanmouri-naika.com



株式会社 種市建築工房

住所:〒243-0035 神奈川県厚木市愛甲1丁目24-32

住所:〒123-0054

東京都練馬区高松5-8-20

山田クリニック 様



ご返送の際は郵便局のポストに
投函せず下記までご連絡ください。
・本状の配達に関するお問合せ先—
TEL:0120-1234-5678

発熱外来用UV付き簡易診察室

COVID-19 Killer3



感染力を強めた変異株と戦うために!

ダイヤモンドプリンセスに乗った医師が開発、特許取得済

※特許第6845370号 発明の名称:簡易診察室

コロナ禍の医療現場の安全のために診療所、病院、福祉施設での採用を。

ダイヤモンドプリンセスに乗った医師が開発、特許申請。コロナ禍の医療現場の安全のために診療所、病院、福祉施設での採用を。

COVID-19 Killer 3



発熱外来用UV付き簡易診察室
(COVID-19 killer 3)



内科、胃内視鏡、大腸内視鏡、カプセル内視鏡、生活習慣病、癌検診
人間ドック、各種予防接種、渡航外来

厚木市愛甲2丁目11-9 (Tel 046-270-6661)

専用駐車場6台

外来の現在の待ち人数はホームページで
確認できます。(南毛利内科で検索)

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
8:30 ~ 12:30	●	●	●	—	●	●	—
15:00 ~ 18:00	●	●	●	—	●	—	—
18:00 ~ 19:30	●	—	—	—	●	—	—



発熱外来用UV付き簡易診察室(COVID-19 killer 3) 仕様と標準的取扱説明書

特許申請中；特願2020-175405

特徴1: 医師側ブースと患者側ブースは完全に密閉され、医師側は持続陽圧、患者側は持続陰圧であるため、両者間に隙間(医師の手袋の袖部分のみ)ができた場合のみ、医師側から患者側に風が流れ、100%患者側の空気が医師側に入ることが無い。

注: 他社製では密閉されてないため、常に医師側から患者側に風が起り、乱流、反射風が起り危険である。



特徴2: 患者感染を防ぐため、患者側ブースにUV照射装置を設置、医師側ブースのスイッチで1分間照射するだけで、次の患者の入室が可能。

注: 他社製は患者間感染についての考慮が皆無で、1回事に、患者ブースのアルコール消毒が必要となる。



特徴3: 患者側ブースに高さ調節可能なテーブルを設置しており、医師は採取した検体の処理（インフル、溶連菌簡易キット、COVID19スワブ、および唾液採取検体の3重梱包）を患者側ブースで行える。
注：他社製では検体を医師側ブースに運び処理するようになっている。



特徴4: 診察室には車輪が着いており、室内・室外への移動が可能で、室内使用に適するため、ブースの下面は、床板で覆われ、患者側換気扇にはHEPAフィルターが着いており、ブースから屋内への漏出を100%防ぐ。屋外使用に耐えるため、風雨対策として、入口は堅牢で軽量の扉にし、同時に匿名性を、維持している。
注：他社製は、患者側ブースの下半分は空いていて、屋内での使用に向かないが、屋外での風雨対策が無い。



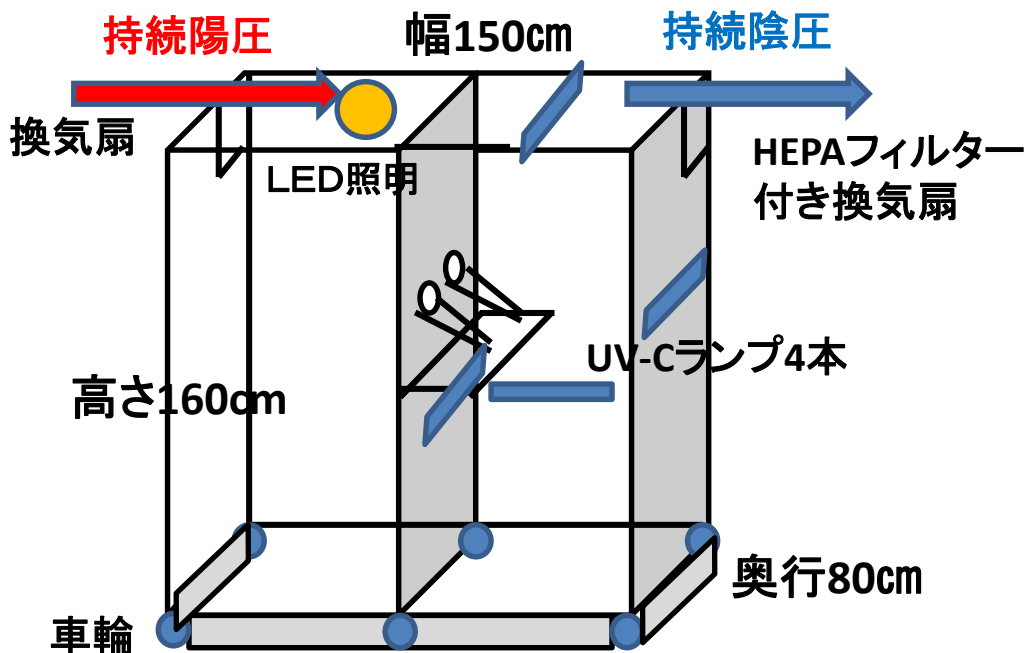
特徴5: アクリル板への腕サックの取り付けは、ゴムパットを用いて簡単に
取り外し可能で定期的なアルコール消毒ができるとともに、劣化の際の
交換も可能である。



特徴6: 医師側ブースにはブース内を持続陽圧に保つ換気扇とLEDランプが連動して
ついており、咽頭部の診察がしやすく、LEDランプの点灯により、患者側HEPA
フィルター付き持続陰圧換気扇、医師側ブース換気扇の作動を確認できる

特徴7: 中間マージンを省き、原材料の安価に確保することで、他社の半分以下
の価格で供給でき、発熱外来に手上げすることで1週間でブースの価格を
補てん可能である。

仕様: サイズ: 80cm(奥行) × 150cm(幅) × 160cm(高さ)
アルミダイガスト柱・不透明ブラ壁/扉・透明アクリル板敷居・木製床



標準的使用方法

1. 発熱患者は基本的に待合室の外や自動車の中に待機させ一般患者との動線が重ならないようにする。
2. 患者から来院の連絡があったらブースの換気扇・LEDランプのスイッチを入れ(UVランプも3分ほど前もって点灯するとオゾンに満たされエアゾル対策になる、オゾン発生はオゾン臭で確認でき無害)、患者側ブースの机に以下のものを置く。①ペンライト②インフルエンザ抗原キット③溶連菌抗原キット④COVID-19抗原キット⑤COVID-19PCR検査用唾液採取スピッツ(前もってラベル貼布)⑥パラフィルム⑦唾液採取説明書⑧問診票⑨サチュレーションモニター⑩電子体温計



3. 患者にマスク着用の上、患者側ブースに入って扉を閉め問診票を記載するよう伝える。保険証・診察券は看護師がジブロックで受け取る。
4. 医師は手袋を2重に付け(1枚目を取る際に間違わないように違う色のニトリル手袋を用意することが望ましい。)医師側ブースに入り、2重手袋より腕側が患者ブースに入らないよう注意して腕カバーに手を入れ、患者ブース側の問診票をチェック、COVID-19、インフルエンザの感染リスクを確認。
5. サチュレーションモニター、体温計で患者の状態を確認しペンライトで咽頭部の診察を行う。
6. この際、咽頭部に白苔の付着や著しい発赤を認めた場合溶連菌検査キットで確定診断するか、抗生剤の処方で終了しても良い。

7. 咽頭部の症状に乏しく所見も正常なら、インフルエンザ、COVID-19抗原検査に進む。患者との接触時間短縮のために同時に行う方が良い。COVID-19抗原検査の判定時間は15分と長く、最初に検査が、時短になる。判定まで、PCR検査の唾液を取るよう説明、2枚目の手袋を患者ブース側にとって置き、腕サックから1枚目の手袋のまま、腕を抜き、アルコール消毒して1枚目手袋をはずし、一般診療に戻る。
8. 15分後、2重手袋で医師側ブースの腕サックから、唾液検体にパラフィルムを巻き患者ブース側の検体立てに。抗原検査の結果を確認。(抗原とPCRは同時でも保険適応あり)
9. 再び2重手袋の1枚目を患者ブースで取り、腕をサックから抜き、アルコール消毒、患者に処方の希望があるか確認し、自動車で来た人は自動車で待機、歩いてきた人は、待合の外の椅子で待つように伝える。
10. 手袋・マスクをした看護師が、会計伝票と保険証・診察券をジブロックで運んで患者に渡し、ジブロック内にお金を入れてもらう。
11. 処方箋は、門前薬局に渡し、マスク手袋を着用した薬剤師が外の椅子、あるいは自動車の窓越しに薬剤の説明と受け渡しを行う。
12. 患者が出た後のブースから医師は唾液検体を手袋着用のまま取り出し看護師が持つジブロックの中に落す。UV照射の前にこの作業を行わないと、検体の劣化が起きる。
13. 唾液検体を取り出したことを確認したうえ、UV照射スイッチをオンにする。この際、換気扇もオンのままにする。UVは理論上、1分間でUV照射した部分のウイルスフリーにするが、3分程度照射すると、大量のオゾン(O₃)がブース内に発生するため、使用済み検査キット、腕サックの裏側、サチュレーションモニター、体温計、ペンライトも裏表すべて浸みこんだオゾンでウイルスフリー化されるので、そのあとに看護師が使用済み検査キット等を回収し消毒は不要である。

製作・販売
株式会社
種市建築工房



立案・設計・特許出願



NANMOURI MEDICAL CLINIC
南毛利内科
抗加齢/人間ドックセンター

〒243-0035
神奈川県厚木市愛甲1-24-32
046-247-9806
代表:種市陽光

〒243-0035
神奈川県厚木市愛甲2-11-9
046-270-6661
院長:内山順造

取り扱い説明書:文責 南毛利内科医院長 内山順造
UV関連の論拠は次ページの文献を参照の事。

各医療機関担当者 各位 2020.9.28

爽やかな秋風の吹く今日この頃、皆様、いかがお過ごしでしょうか。「秋来たりなば冬遠からじ。」 COVID-19 禍のなか初めての冬シーズン、いかに発熱患者を安全にかつ適格に診断治療するか、皆様、憂慮されていることと思います。

神奈川県 JMAT 隊員としてダイヤモンドプリンセスに乗りこみ、その後、県医師会公衆衛生委員会副委員長、厚木市 PCR 検査センター立ち上げ責任者としての仕事を通し、日々、勉強し考えてまいりましたが、県の協議でも「発熱患者は診断せずに抗ウイルス薬と抗生物質を処方し、改善しなければ、PCR 検査センターに回す。」と言うのが、今冬の消極的解決策として、提案されております。しかし、診断なしに処方することへの医師、および患者における抵抗感、診断が遅れることによる混乱、PCR 検査センターにおけるキャパシティ・オーバーは、十分予測されます。そこで PCR 検査センターの立ち上げ時に、医師への感染、更に患者間感染を 100% 予防するために、医学文献¹⁾²⁾ に基づき UV 照射装置を自ら作って (COVID-19killer1,2) 安全な検査所にした経験を生かし、各医療機関に、PCR 検査センターと同等以上の安全性を防具なしで確保でき、極力価格も抑えた発熱外来用 UV 付き簡易診察室を、専門の工務店と協力して量産することとしました。他社でも 2 社ほど、簡易診察室を販売しておりますが、患者間感染に対する配慮が全くないことから、1 人の患者さんを診察後、ブースを完全にアルコール消毒しなければならず、時間のロスと危険性を伴います。価格面でも我々の簡易検査室の 2 倍から 3 倍の価格で販売されています。安心・安全な診療のために是非、導入のご検討をお願い致します。各地方自治体で、全額補助を受けられるはずですので是非ともその辺の確認をお願い致します。神奈川県の場合。12 月 28 日までに申請で <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/t3u/f533/sienkintop.html>

「新型コロナウイルス感染症対策に係る国の令和 2 年度第 2 次補正予算を踏まえた「医療従事者への慰労金」・「医療機関等における感染拡大防止等支援事業」について (随時更新)」で全額補助されます。発注から 1 ヶ月以内での納品を目指しますが受注状況が、後半に集中しますと若干の遅れが出ることをご了承ください。公的補助を受けるために領収書が必要な場合は、口座への入金確認がされれば、すぐに領収書を発送いたします。皆様の安全安心医療に是非貢献したいと考えております。御検討下さい。

南毛利内科抗加齢人間ドックセンター医院長 内山順造 拝

文献 1) Perioperative COVID-19 Defense: An Evidence-Based Approach for Optimization of Infection Control and Operating Room Management: Franklin D etv. ANESTHESIA and ANALGESIA 2020 1-6

2) Disinfecting personal protective equipment with pulsed xenon ultraviolet as a risk mitigation strategy for health care workers: Chetan Jinadatha MD, MPH etv. American Journal of Infection Control 43 (2015) 412-4

発熱外来用UV付き簡易診察室(COVID-19 Killer3)
注文票

施設名	
代表者名	
住所	
電話番号(FAX)	()
Eメール	
注文形態	組み立てキット 組み立て済み配送 特注サイズ
特注の場合	幅(cm) × 奥行(cm) × 高さ(cm)
注文個数	
設置場所	屋内 屋外 その他()
用途	発熱外来 インフルエンザ検査 PCR検査
希望納期	
その他ご意見(申し込みは下記FAXにお願いします)	

FAX: 046-270-6662 (南毛利内科)